























# 業種別景況予測

## 平成23年7月～9月

						
	特に好調	好調	まあまあ	やや不振	不振	きわめて不振
部会	4～6月 (実績)	7～9月 (見通し)	概況			
寝装 リビング			全体的に去年と今年はず変わらず、原材料の値上がりがある来年が心配。一方で、23年3月まではまずまずの業績だったが、4月以降は東日本大震災の影響もあって大変悪い。との声あり。			
繊維 ファッション			震災の影響は直接うけていないが、いずれあると思う。通販、ネット販売の業界を見直さざるを得ない(販路の見直し)とのこと。一方で、徐々に売上が上がっているが、円高で利益が出にくく、借入金を減らしながら合理化を図り、何れ安定した利益を期待する声あり。			
工業			自動車部品、建設機械部品が増加傾向になっているが、仕入価格の上昇で、未だ売上価格に転嫁できていない。又、乱高下の難しい経済情勢となっているとの声あり。			
建設			パネルタンクや、コンパネ等の小さな建築資材の生産が遅れている様子で品薄、割高感が強い。また、建設業界は以前から「新築」より「リフォーム」に移っているが、震災の影響はまだわからないとの声あり。			
運輸倉庫			近隣の倉庫の空き状況が目立っているが、インターネット販売会社に借りてもらっている。全国的に展開している業種は安定している。秋冬物の荷動きが若干前倒しの様子。食品・飲料の配送を扱っているため、暑くなり動き出してきたが、日変わりでバラツキがあり、軽油価格の下落と安定を望むところ。			
金融理財			損保代理店からは、一般家庭の地震保険の問い合わせが多くなり、加入者が増えているが継続金額が減少している。住宅販売会社からは落ち着いているが、不安あり、現状維持との声あり。東北の大震災の起こった後からなのか、公正証書を残す人が増えたように思うとのこと。			
一般商業			小売業からは、在庫が残る商売は今の時代は難しいとの声あり。又、例年に比べ3週間程度の早い(梅雨入り、明け)季節の動きにより季節商材や節電商材がよく売れる。又、地デジ対応商品も駆け込み需要大とのこと。			
サービス業			原発の影響により海外からの訪日旅行が減少しているとのこと。全体的に低価格化が進み、いかにして新規顧客を獲得するかが今後の課題である。又、整骨院からは、同業者の増加が示唆されており差別化が難しいとのコメントあり。			

(調査概要) ●調査実施 平成23年7月 ●調査対象企業 258社 ●回答数100社

寝装リビング 16社 工業 18社 運輸倉庫 13社 一般商業 9社

繊維ファッション 16社 建設 8社 金融理財 11社 サービス商業 9社

管内企業をとりまく諸条件を考慮し、各企業が「景況」をどのように予測しているのかについて、継続的に調査し発表しています。調査は、四半期毎にとらえており、通常のシーズンの動向が理解できるようにまとめました。この「景況予測」が「結果」と比べてどうであったか、また、各々の業界対策・企業経営の一つとして、参考にしていただければ幸いです。

～調査機関～ 泉大津市田中町10番7号 泉大津商工会議所 経営支援部 TEL 0725-23-1111